

男子大 0.75 (大便器係数) × 6.0 = 4.5 器

女子 815/40 (女子便器回転率) = 20.4 器

上記算出結果から北トイレの便器数は、以下を目安とする。ただし、女子の必要便器数20器については、既存の南トイレを基準として14器とする。

#### ■北トイレの規模算出

要新設便器数	男小	6 器
	男大	4 器
	女性	14 器

また、上記に加えて、洗面、多目的トイレスペースを設置する。

#### ■トイレの整備方針 (北トイレ)

	必要便器数	標準面積	必要面積
男子小	6 器	3.0 m <sup>2</sup>	18.0 m <sup>2</sup>
男子大	4 器	5.4 m <sup>2</sup>	21.6 m <sup>2</sup>
女子	14 器	5.4 m <sup>2</sup>	75.6 m <sup>2</sup>
多目的	1 器	8.8 m <sup>2</sup>	8.8 m <sup>2</sup>
洗面 (男2、女2、多1)	5 器	3.0 m <sup>2</sup>	15.0 m <sup>2</sup>
合計			139.0 m <sup>2</sup>

※標準面積はNEXCO 東日本の「設計要領」の数値を使用

上記より、便器等に関わる必要面積は139.0 m<sup>2</sup>であるが、これに通路等の面積を考慮し、**150 m<sup>2</sup>**を基準として整備する。

### (3) サイクステーション

サイクルスポーツによるスポーツツーリズムを推進するため、駐輪スペース及び休憩施設を整備する。

サイクリングを楽しむ人たちのための駐輪場のほか、施設内には更衣室、簡易シャワー、休憩所、修理場等を設置する。

規模は **150 m<sup>2</sup>**を基準として整備する。

### 3 地域連携機能

新鮮な地元産野菜、地元の素材を活かした食、伝統工芸・文化、那須ブランドなど町の魅力をPRするとともに産業振興を促進する。

#### (1) 新館

- 既存の農産物直売所、軽食コーナー、なすとらん、物産センターを新館内に集約して配置する。
- 新館内にテナントスペース（店舗）を設ける。
- 新館内に休憩スペースを設ける。
- 新館を工芸館に近接する位置に配置することにより、工芸館への誘客を図る。

#### ①農産物直売所

- 農業振興施設として、現在、ふれあいの郷直売所組合が運営する農産物直売所を新館内に配置する。
- 農産物直売所は、那須町産の野菜等を魅力的に見せるために十分な広さを確保する。
- 混雑時にもスムーズに買い物ができ、また、利用者がカートを押しながらすれ違うのに十分な広さを確保する。
- 農産物が大量に出荷される時期にも対応できる広さを確保する。
- 出荷する農産物をスムーズに運ぶことができるようバックヤードを確保する。

#### ■農産物直売所の規模算定 現在の面積 344 m<sup>2</sup>

(売場面積：263 m<sup>2</sup>、軽食厨房等：37 m<sup>2</sup>、事務所ほか44 m<sup>2</sup>)

農産物直売所には、売場、事務室、休憩・更衣室、倉庫を設置する。

観光シーズンになるとオープンから昼頃まで大混雑になり、施設の外まで行列ができることもある。

このため、カートがすれ違うことができる広さや倉庫等を確保するため、現在より約100 m<sup>2</sup>増の売場面積（約360 m<sup>2</sup>）を基準として整備する。

これに、事務室、従業員休憩室・更衣室、倉庫を加え、直売所全体で **420 m<sup>2</sup>** を基準として整備する。

## ②軽食コーナー

- 軽食コーナーを新館内に設置する。
- 手軽に食べられる地場産の素材を使ったメニューを提供することにより、食材の魅力をPRする。

### ■軽食コーナーの規模算定 現在の面積 37㎡（厨房 25㎡、事務室 12㎡）

軽食コーナーには、厨房、食品庫、倉庫、事務室、従業員休憩室・更衣室を設置する。厨房は、現在の面積（25㎡）の2倍程度の50㎡とする。

また、飲食スペースは別に休憩所を設けるため必要最低限の50㎡とし、これに食品庫、倉庫、事務室、従業員休憩・更衣室の30㎡を加え、全体で **130㎡**を基準として整備する。

## ③なすとらん

- なすとらん倶楽部が運営する農村レストランを新館内に配置する。
- 地元の素材にこだわった手作りの味を提供し、那須の食の魅力をPRする施設とする。
- 那須連山を眺望することができるよう新館の北側に座席を配置する。

### ■農村レストランの規模算定 現在の面積 351㎡ （食堂面積：162㎡（1階90㎡、2階72㎡）、厨房等：45㎡、事務所ほか144㎡）

現在の面積内訳

	名称	面積
1階	食堂（約50席）	90㎡
	倉庫	15㎡
	従業員トイレ	33㎡
	更衣室	10㎡
	厨房	45㎡
	会計所・通路等	23㎡
	風よけ室	7㎡
1階計		223㎡

	名称	面積
2階	食堂（約25席）	72㎡
	その他	56㎡
2階計		128㎡
合計		351㎡

食堂面積		162㎡
食堂以外の面積		189㎡
合計		351㎡

食堂面積は、団体客の受け入れに対応できるよう、現在の1階食堂面積の2倍程度の180㎡を確保する。また、事務室、休憩・更衣室、倉庫を併せて設置することとし、**450㎡**を基準とする。



#### ④物産センター

- 新館内に物産センターを配置する。
- 那須ブランド販売のほか、那須町の特産品の魅力をPRする場とする。

##### ■物産センターの規模算定 現状：73㎡

NEXCO 東日本の設計要領においては、パーキングエリア規模ではショップの標準的な面積を150㎡と設定している。また、サービスエリアにおいては、駐車マス数に応じて標準面積規模が定められている。

友愛の森においては、那須町特産品・名産品等の販売促進を図るため、必要な面積を確保するものとし、面積は現状の2倍程度の 150㎡を基準として整備する。

#### ⑤テナントスペース

- 新館内にテナントスペース（店舗）を配置する。
- 友愛の森内での消費額の増加を図るとともに、テナントスペースの貸付けを行い、貸付料を維持管理費の一部に充てる。

##### ■テナントスペースの規模算定

テナントスペースの面積は、軽食コーナーの飲食スペースと同規模の 50㎡とする。

#### ⑥休憩所

- 新館内の飲食施設に隣接して、休憩スペースを設ける。休憩スペースでは、軽食コーナー、物産センターで購入した食品の食事もできるように、椅子、テーブルを設置する。
- ペット（犬）と同伴の方も休憩できる工夫を施す。
- 授乳、おむつ替えの設備も整備する。
- ゆったりと快適に休憩できるよう内装や照明等を工夫する。

##### ■休憩所の規模算定

休憩所の面積は、NEXCO 東日本の設計要領を参考にする。

## 休憩所の標準規模

片側駐車台数(台)	席数	標準的な面積
300	80	250
250	60	210
200	60	210
150	40	170
100台以下	30	140

(NEXCO 東日本 設計要領より)

整備後の友愛の森の駐車台数は 295 台であることから、上記より、**面積 250 m<sup>2</sup>、座席数 80 席程度**の休憩所を設けることとする。

**(2) 工芸館**

- 町伝統工芸の魅力をPRするため、実演・体験を充実させ、町伝統工芸の伝承施設とするため現在の施設を改修する。
- 現在の1階販売スペースは現状程度とするが、2階は多目的ギャラリー等に改修する。
- 屋根に積もった雪が大量に軒下に落ちてくるため、安全対策を施す。
- 障がい者や高齢者でも2階に上られるようエレベータ等の設置を検討する。

工芸館では、篠工芸を始めとする伝統工芸の実演・体験、工芸品の販売を行っているが、今後は、会員増や後継者の育成により活動内容を拡大する。

**(3) イベント広場 (防災ヤード)**

- 観光客の誘客促進のため、イベント広場を設置する。
- イベント広場は、災害時には避難所としても利用できる防災ヤードを兼ねる。
- 那須の上質な自然にふれる場として、緑地を整備する。

**■イベント広場の規模**

現在と同規模程度の **3,000~4,000 m<sup>2</sup>**を基準として整備する。

**■緑地の規模**

イベント広場北側に現存する林地の面積より可能な限り多くの植樹を行う。ただし那須連山の眺望を遮らないよう高さの調整を行う。森林法の基準を満たしながら、全体的に緑地を確保する。



#### (4) カフェ・レストラン

- 那須連山を眺めながらゆったりと過ごすことのできるカフェ及びレストランを整備する。
- 農産物直売所と連携し、野菜を中心とした地域の食材を生かしたメニューを提供する。

現在の友愛の森には、手作りの味を提供するレストランなすとらんが営業している。しかし、なすとらんの営業はランチタイムをメインとしているため、それ以降の時間帯で来場者がゆっくりと友愛の森の雰囲気を楽しめる場所が不足している。また、顧客のニーズが多様化しており、女性客やファミリー層からは、現在のメニュー以外の食事を提供するレストランの要望も寄せられている。

##### ■カフェ・レストランの規模

カフェ・レストランの規模は、必要最低限の 200 m<sup>2</sup> を基準として整備する。



物産センター



なすとらん



工芸館